



済生会
だより

ならしの

千葉県済生会習志野病院 院外広報誌

No.49 2019.新春号

年頭のごあいさつ

病院長 小林 智

皆さん、明けましておめでとうございます。本年も皆さんにとって、良い1年になりますよう祈っております。平成最後の年はどんな年になるのでしょうか。

2020年のオリンピックイヤーに向けての準備の1年になるのでしょうか。56年ぶりの東京オリンピックは是非とも成功していただきたいですが、一方で災害が起こらないか、テロが起こらないか心配の種は尽きません。千葉県全体でも、この周辺地域でも行政、消防、警察、医師会などを中心に災害訓練、テロ対策訓練が頻繁におこなわれています。

当院でも災害マニュアルのみでなく、災害時事業継続計画、いわゆるBCPのさらなる充実をはかっているところです。通常の病院業務をこなしながらですので、なかなか大変ですが、災害時にも地域の皆さんのお役に立てるよう頑張っております。

また不幸にして実際に災害が起こってしまった場合には、病院から地域の皆さんにボランティアのお願いもすることになるかもしれませんので、その際にはご協力よろしく願いいたします。

災害が起こらない1年であることを願う反面、もし起こった時にはの発想で準備を怠らないようにしていきたいと思っております。

皆さん、本年もよろしく願いいたします。

Contents

- 年頭のごあいさつ
- 飲み薬の保管について ● 診察前の検査 ほか
- 糖尿病講座のご案内



すべての
いのちの虹に
なりたい

病院の理念

患者さんに寄り添う医療を通して、地域住民の健康と福祉の増進に寄与します。

病院の基本方針

- ・患者さんの権利と意思を尊重し、ともに考え良質で効率的な医療の提供に努めます
- ・全ての職員はレベル向上のため研鑽し、最善のチーム医療を行います
- ・地域医療機関との連携を深めて、中核病院としての役割を果たします

患者さんの権利

- ・良質な医療を平等に受けることができます
- ・病状や治療内容について十分な説明を受ける事ができます
- ・自分の意思により治療を選択し決定することができます
- ・個人情報、プライバシーは保護されます
- ・自分の診療内容について開示を求めることができます

患者さんに守っていただくこと

- ・ご自身の健康や病気に関する情報を正確にお伝えください
- ・診療に協力し自ら治療に積極的に参加する気持ちをお持ちください
- ・病院の規則を守っていただきます

飲み薬の保管について

～気づかずに期限が切れたお薬を服用していませんか？～

薬剤部 部長 田中 嘉一

医療用として販売されている錠剤のシートは、かつて縦と横の切れ線があり、錠剤を1錠ずつ切り離しやすくなっていました。しかし、その錠剤をシートのまま飲み込んでしまい、食道などに引っかかったために内視鏡で取り出すという事故が散見されたため、誤飲防止のために縦の線が無くなってしまいました。このため、錠剤を一つ一つハサミで切り離して、缶や箱に入れて保管する方が多くなったといわれています。



入院される場合には、病棟担当薬剤師が持参されたお薬を鑑別し、どんなお薬をどのような飲み方で、どれくらいの量を持参されているかを確認して医師に報告しています。最近では、写真のように錠剤を切り離して、缶などに大量に保管されたものを持参されるケースがととも増えています。このようにシートを1錠ずつ切り離してしまうと、錠剤がたまっていくうちに、新しいものと古いものの区別がつかなくなってしまう場合が多く認められています。写真左端の丸印で示した錠剤は、オルメテックOD錠10mgの中に、オルメテック錠10mgが混入した例で、これを調べてみると、すでに市販が中止されてから、1年以上も経過していることがわかりました。

切はしの角があたり、穴が開いてしまっているものや、似たような外観のお薬が混ざってしまうことも少なくありません。飲み薬は、出来る限りシートのまま薬の袋に保管し、古くなったお薬を知らずに飲んでしまうということにならないよう気をつけましょう。

診察前の検査

～「事前採血」と当日診察前の採血について～

臨床検査科 主任 深海 律子

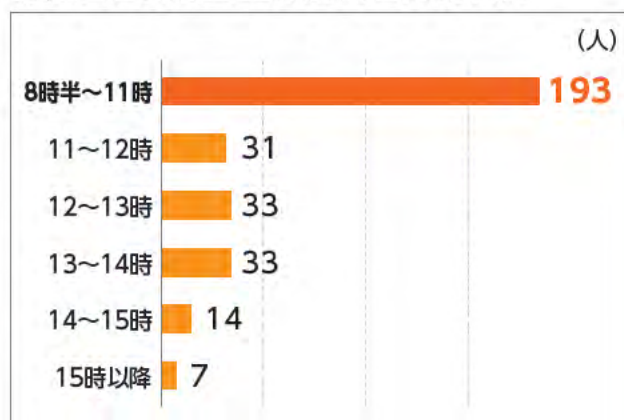
採血室では、患者さんの待ち時間の短縮のために「事前採血」をご案内しています。

「事前採血」とは、予約診察日より前に一度来院されて、検査の採血を事前に済ませていただくことです。診察当日には、採血検査の結果待ちを考慮せず、ゆっくりおこしいただけます。

現在、早朝、受け付け開始直後は大変混雑しております。(8時半から11時まで -グラフ参照-) 待ち時間の緩和に向けて、比較的空いている11時以降(昼食前の採血)に、採血室にお越しいただくようご協力をお願い致します。ただ、病状によっては、事前採血や昼食前の採血が出来ないこともございますので、一度担当医師にお尋ねください。

なお、事前採血せずに、従来通り診察日に採血されても診察は可能です。

時間ごとの採血室の患者さんの人数



一般撮影装置を更新

このたび、一般撮影装置の更新をいたしました。

一般撮影装置とは、いわゆるレントゲン撮影装置であり、当院では最も使用頻度の高い撮影装置です。そのため、この装置は検査ごとにさまざまな撮影に対する機器の位置決めが要求されることから、診療放射線技師が手動による位置合わせを検査室で行い、その後操作室に移動して撮影しなければならず、一つの検査に多くの時間を要していました。

今回導入しました装置は電動駆動機構を搭載することで、指定の撮影ポジションにボタン一つで自動に位置合わせをおこなえることから、都度おこなわれていた機器の位置決めなどの操作を自動化できるようになり、検査の大幅な効率化が図れるようになりました。

また、同時にFPD(フラットパネルディテクタ)という装置も導入したことから撮影してから画像が見られるまでのひとりあたりにかかる撮影時間も短縮され、患者さんの待ち時間も少なくすることができるようになりました。

撮影を担当する診療放射線技師も最適な条件で撮影することを心がけていたしますので、ご質問などがございましたら、診療放射線科までお問い合わせください。



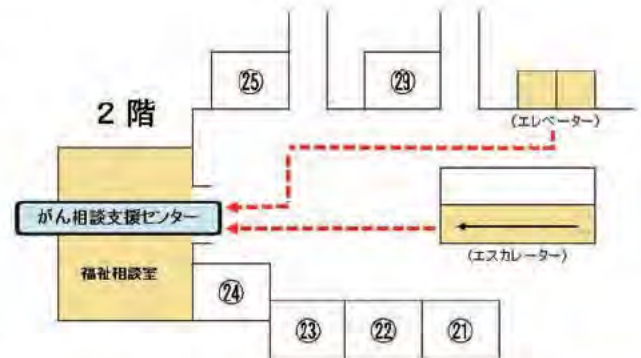
一般撮影室に設置されているX線撮影装置は、自動車事故被害者救済のために日本損害保険協会の寄付金を受けて整備いたしました。

がん相談支援センターについて

福祉相談室 室長 村田 智美

当院は「千葉県がん診療連携協力病院」に指定されています。がん診療連携協力病院とは、がんに対して専門の医師やスタッフが手術・化学療法・放射線療法など総合的に治療を実施している病院です。

がん治療をするなかで患者さんやご家族には、さまざまな不安が出てきます。たとえば、「お金のことが心配」「後遺症や副作用で身の回りのことが困難」「社会復帰はどうしよう」「療養生活はどうしよう」など…生活不安があっては治療に専念できません。そういった患者さんやご家族が無料で相談できる「がん相談支援センター」が2階の福祉相談室内にありますので、悩みはかかえずに、まずはご相談ください。専門スタッフが一緒に考え、より良い方法を見出すお手伝いをします。



〈受付時間〉 平日9:00～16:00(予約制)

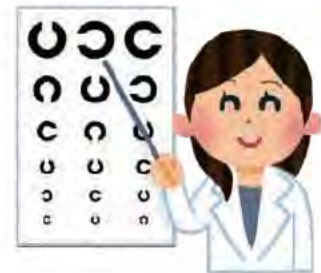
〈電話〉 047-411-7317(福祉相談室 直通)

眼科外来の受診について

平成31年1月より、眼科外来の受診申込は紹介状をお持ちの方に限らせていただきます。

当院は地域医療支援病院として、地域の「かかりつけ医」を支援し、より専門的な治療を要する患者さんに、充実した医療サービスを適切に提供できるように努めてまいります。

皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



糖尿病講座のご案内

お申し込み・お問い合わせは、内科外来まで

当院では、奇数月に糖尿病講座を開催しています。参加費は無料ですので、是非ご参加ください。
なお、人数に制限がありますので、準備の都合上、必ず事前に予約をお願いいたします。

1 月の講座 (第5回)

日時 1月25日(金) 14:00～16:00
場所 当院8階講堂
テーマ 糖尿病と運動療法
運動療法「その2」
日常生活の注意点「その2」

3 月の講座 (第6回)

日時 3月22日(金) 14:00～16:00
場所 当院8階講堂
テーマ 糖尿病とがん
質問コーナー

なお、日時・内容は変更する場合がございます。

お知らせ

「済生会だより ならしの」は病院ホームページからご覧になれます。

発行/千葉県済生会習志野病院

〒275-8580 千葉県習志野市泉町1-1-1 TEL 047-473-1281 (代) FAX 047-478-6601

ホームページ <http://www.chiba-saiseikai.com>